

2018年度 バジル・クリツァー氏 トロンボーン 特別講義  
緊張とパフォーマンス（ステージでも実力を発揮するために）

1. 日 時 : 2018年11月19日(月)13時30分～16時30分
2. 場 所 : O号館 101教室
3. 対象学生【必修】 : トロンボーン専攻・コース生 他聴講可(学内のみ)
4. 講師紹介 : バジル・クリツァー氏 (Basil Kritzer)

ホルン奏者、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

「BODY CHANCE」所属アレクサンダー・テクニーク教師。

1984年香港生まれ。京都育ちアメリカ国籍。立命館高校卒業。

2008年、エッセン・フォルクヴァング芸術大学卒業。在学中、ケルン室内歌劇団などで客演。

日本に帰国後、名古屋フィルハーモニー交響楽団、テレマン室内オーケストラ、奈良フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル神戸、あさがおプラス クインテット、宝塚歌劇場管弦楽団、ウィンドアンサンブル奏、オーケストラ華夏などで客演。

その他には、京都祝祭管弦楽団第4回定期演奏会にて吉永雅人(新日フィル)氏、水無瀬一成(京都市交響楽団)氏らとシューマンのコンチェルト シュテュックをソリストとして共演。Primo Passo Orchestra の定期演奏会にてモーツァルト作曲ホルン協奏曲第3番を演奏。

現在、山口潤・山口明・伊藤数仁(大阪市音ウィンドオーケストラ)、蒲生絢子(大阪フィルハーモニー交響楽団)、中西順(大阪交響楽団)氏らと共に「NDN ホルンアンサンブル」に所属。

ホルンをこれまで、逢坂知訓(元京都市交響楽団)、小山亮(元京都市交響楽団)、フランク・ロイド(エッセンフォルクワング芸大教授、国際ホルン協会会長、フィリップ・ジョーンズ・プラスアンサンブル)、ピップ・イーストッブ(ロンドン・シンフォニエッタ他)、ルネー・アレン(元マインツ交響楽団他)、ウルフリード・トゥーレ(元チューリッヒ交響楽団副主席ホルン奏者)、アレン・スパンジャー(ニューヨークフィルハーモニック・ホルン奏者)の各氏に師事。

5. 講義概要 :

本番の恐怖と緊張を乗り越える方法。

- ・本番に向けてどんな準備が必要で
- ・本番で感じる緊張や恐怖にどう向き合うか
- ・それをどう乗り越えるのか

トロンボーン専攻生に限らず、全ての奏者に役立つ内容です。